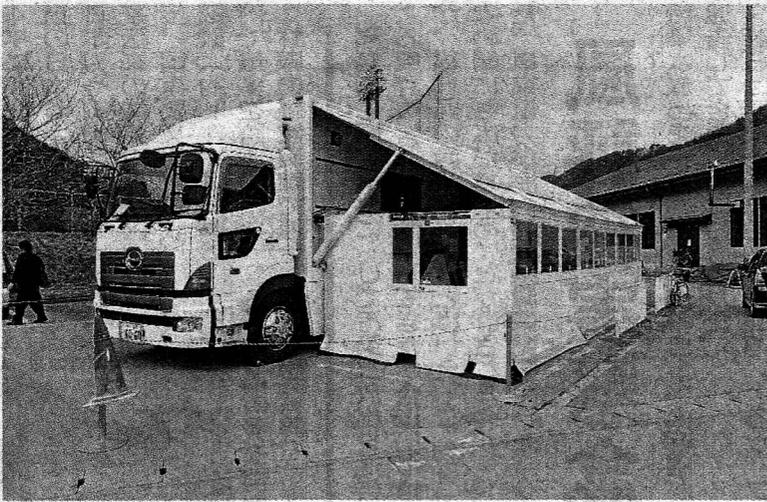


# 移動クリニック配置

## 岩手大槌 トレーラーハウス活用



国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市）は5日、岩手県大槌町の同町弓道場避難所に、超音波診断装置などを備えた移動式クリニックを配置した。貧血など体調不良に悩む東日本大震災被災者の診察、治療に役立てる。

菅波茂代表がこの日記者会見で明らかにした。大型トレーラーハウスを活用し、最大72平方メートルの空間を確保。

AMDAが岩手県大槌町の避難所に設置した移動式クリニック

間仕切りで部屋の分割もできる。心電計や点滴器具などを設置し、6日以降、検査や治療に使用する。

菅波代表は「避難所は脱衣やプライバシーなどの問題があるう

え、医療機器がないため検査は困難だった。被災者の健康管理に「なげたい」とした。

AMDAは大震災の発生直後から被災地で支援を行っており、これまでにも医師、看護師

ら延べ112人が現地入り。物資輸送のほか、被災した地元医師が今後、地域医療を展開する仮設診療所の建設などを計画している。

（内田圭助）

1年(平成23年)4月6日 水曜日

山 陽 新 聞